

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名 浜松市根洗学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	11	・共有利用が多い ・広さは問題ないと思うが、部屋数は足りないと感じることがある ・子どもが過ごす部屋、遊べる空間等もう少し改善できるといい ・よく分かりません ・1部屋8名が丁度良いように感じる ・ことばの部屋が専用でないので、ことばの訓練中、人の出入りがあると、子どもも集中しにくい環境だと思う ・前日に、どのグループがどの部屋を使用するか、確認をしている。しかし、雨の日は遊ぶ部屋が足りず、困る ・動きが多い児も多い為、せまいと感じる ・各部屋で空間を仕切るなど工夫している ・課題が異なる児がいる中、環境設定するスペースがあると良いと感じる事がある ・部屋数が少ない為、雨天時は、交替で使うなど工夫している ・動きを伴う活動ができる広い部屋の数が足りず、教室内で人数を分けて行うことが多い	
	2	職員の配置数は適切であるか			・個別に対応が必要な時に職員が入っていただけると良い ・日によって足りないと感じる。ゆとりがない。 ・よく分かりません ・4人(子ども)に対して職員1人が配置されている ・配置基準を満たしていても丁寧な関わりに難しい時がある ・基準を満たしていても、足りない時はあると思う ・職員の休みや、研修等で人手が足りない時、休憩時間をずらす等何とか対応している ・毎日、子どもに対する職員の人数を確認し、体制をくんでいる ・児と職員の比率のみで考えると適切ではあるが、クラスの状況、正規、ベストスタッフ等、個々の仕事の領域も違うので、そこも配慮があると療育が落ち着くのではと思う ・他害がある子どもがいる場合、その子に専属に対応する職員の確保は難しい ・難しい。空間を考えると大人が多過ぎることもある ・バリアフリーではない(段差)。情報については、内戦が使えるようになりスムーズ	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか			・雨天時に靴箱を移動。トイレの手すり、段差等 ・教室が狭いと思う ・トイレや通路に段差があり、歩行が不安定な児に対しては、配慮が必要 ・トイレ、玄関の段差がある。教室内の仕切り等考え、実施しているところもある ・よく分かりません ・北棟トイレが、手すり付きトイレだが、扉が引き戸があり、車いすや歩行器の方が使いづらい ・玄関の段差が高いと感じる。一部にスロープ等の設置があると良いと思います ・トイレは段差があり、車いすや歩行が不自由な人には使用しにくいと感じる ・段差が多かったり、扉のタイプが危険なもの(西棟通路)、しまりが悪い等、全体的に老朽化している ・明るさなど不便なところあり ・段差が多い為、子どもにとっては危ない。トイレが狭く、暗い ・段差が多く、歩行が困難なお子さんの移動は職員が抱きかかえていく ・絵カードやコミュニケーションボード、手すり付きの椅子を用いたり、踏み台を用意する等、できる配慮を重ねている。段差があったり、溝(隙間)があったりするので、バリアフリーに関しては、もう少し対策が必要と感じる ・施設の構造状、建物自体を変えるのは、難しいところもあるが、直せる所は修理を依頼する等、設備が良くなるよう取り組んでいる ・トイレが狭く、手洗い場が少ないため、混雑する、上手に導線が出来ない。段差も多い ・門は頑丈であり、子ども達がすぐに出られないようになっている ・脳性麻痺の子が自力で動きやすいように、設備の見直しが必要な部分があると思う	

	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	14	12	・毎日掃除をして清潔を保っているが、老朽化は感じる ・トイレの匂いが気になる。水道まわりが汚れている ・よく分かりません ・概ねなっていると思う ・窓がないトイレがあり、明るさや換気の面で気になることがある ・トイレが古く、暗い ・療育時間後は、玩具や扉等、アルコール消毒をしている ・壁紙がはがれていたり、床が剥げていたりしている。机、椅子も揃っていないくて高さも合わないものがある。おもちゃも揃っていないし、きれいにしてから戻すという事ができていない ・心地よく過ごせるように修理してます。 ・建物が古いのは、仕方がないため、毎日清掃は、しっかり行っている ・トイレが狭く、暗い等、改善すべき課題がある ・清潔面では掃除等を毎日行い、気を付けている。収納スペースがなく、片付け場所に迷う部分がある ・掃除をこまめに行い、清潔かつ使いやすい状態にはしてありますが、建物の老朽化ゆえ、活動に合わせた空間作りが難しいと感じる時もあります ・クーラーの効きに差がある(部屋ごと) ・トイレの広さ、手洗いの一の見直しなどが必要と思われる。行事の度にきりんの部屋の片付けが必要になるのは、負担が大きい	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	21	4	・業務改善における目標がよく分からない ・参画していると感じる ・各グループ毎に行っている ・日々、活動終了後に消毒や拭き上げを行っている。雨天時に過ごす部屋が少なく限られており、配膳時に若干影響がある ・上層部の会議で決定する前に、職員の意見を聞く機会があってもよいのではないか	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	25	0	・評価表の内容を確認している ・行事等、アンケートや振り返りシートを保護者へ配布し、以降や感想を確認している ・アンケートの結果を共有し、可能な部分については、改善しようと努めている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	21	4	・HPで公開している ・ホームページ公開はしている。自己評価や保護者向け評価表の分析、改善への取り組みは不足していると思う ・そのように思っている ホームページ等を公開しているのか、分からない	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	23	1	・第三者による評価結果が分からない。非効率的な業務が多い。 ・そのように思っている	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	26	0	・定期的に研修がある ・研修の機会はあるが、研修体系の整備が必要 ・月に1回程度研修がある ・職員会議内でミニ研修を行ったり、その他様々な(内部、外部)研修が行われている ・学園内での研修やzoomでの研修等、多くの職員が参加できる研修を行っている ・様々な研修が準備されていて、良い学びの場をいただいています	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	25	0	・職員同士で話し合いながら作成している ・家族支援、地域支援をいれた書式に変えて行く必要あり。(特に併行通園) ・保護者と面談をしたり、職員同士で話し合い計画を作成している ・面談やおたより帳、電話などで保護者のニーズや悩みを把握しようと努めている ・全員ができるか、には課題がある	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	19	5	・KIDSについては曖昧さがある ・KIDS、太田ステージを使用しているが、適切な使い方を全ての職員が身につけているとは言えない ・よく分からない ・標準化されたアセスメントツールがあるのか、分からない	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	22	1	・地域支援は、内容的に少ない ・そのように思っています ・各グループの職員で、お子さんを見立て、より良い支援ができるよう考えている。また、それを親御さんとも共有し、連携して子どもの育ちを促せるように心掛けている	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	24	0	・計画に沿って行っている ・そのように思っています ・計画を確認しながら支援している ・基本的には、計画に沿って行っていますが、忙しくなると忘れてしまうこともあり、定期的な確認が必要だと感じています	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	21	2	・チームで行っているが、担当者への負担は大きい ・やっていないと思います ・季節毎にプログラムを工夫している ・季節等で、テーマをある程度統一しながら考える ・各活動に担当者がいて、プログラムを立案できている ・グループ職員に質問したりすることで、意見をもらい立案に活かしている ・担当者が立案し、打ち合わせの時に、動きやすいよう具体案を全員で考えている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	22	0	・職員間で案を出し合っている ・よく分かりません ・発達に応じたプログラムを立案している ・季節感を取り入れるよう配慮している ・季節や子どもの成長、行事に合わせて活動を変化させて理している ・ハロウィンイベントなど考え、子どもが楽しめるよう工夫している	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	20	3	・組み合わせているが、集団活動が主になっている ・よく分かりません ・個別での活動ができていないと感じる	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	25	0	・毎朝打ち合わせをしている ・そのように思います。 ・バスの添乗や研修等で不在の場合でも、記録を見て確認する事で共通認識につなげている ・各グループで毎朝必ず打ち合わせをしている。デイリーを作成し、打ち合わせに参加できない職員も確認できている ・かなり綿密にできていると思います ・少ない人数でも子ども達が安全に楽しく過ごせるよう配置を考えている	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	25	0	・振り返りを行っている ・そのように思います。 ・バスの添乗や研修等で不在の場合でも、記録を見て確認することで、共通認識につなげている ・振り返りを毎回行っている。記録用紙があるため、参加できなかった職員も確認できている ・極力行うようにしていますが、バスの添乗や会議、研修などで十分にな時間が確保できないことも多く、それが悩みです	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	23	2	・その日のうちに記録をしている ・そのように思います。 ・子ども達の行動記録を日々書き、月末にはそれらを読み、子どもの1ヶ月の様子から、支援方法や改善を考えている ・記録はとっていますが、支援の検証という点では、もう少し踏み込んで良いかもしれません ・各Gでも支援方法を考えるが、全職員に周知出来るよう朝、終礼で伝えることができている	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	23	1	・モニタリングを行っている ・そのように思います。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	25	0	・参画していると思う ・そのように思います。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	25	0	・必要に応じて連携している ・そのように思います。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	16	1	・保護者に連絡許可をとり、連携をとっている ・必要に応じて支援者会議が実施されていると思います ・まだまだ医療との連携には、難しさがあると感じている ・園児がリハビリを受けているOTの方に生活の場や様子を見に来ていただき、アドバイスを受けた	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14	3	・親御さんを通じて、服薬後の様子等を共有し、Dr.と相談してもらうようにしている	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	24	1	・そのように思います。 ・保育所等訪問事業も行っており、各保育所と連携している ・保育所等訪問支援を行ったり、電話連絡で連携をとっている ・保育所等訪問や電話で情報を共有ができています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	24	1	・保育所等訪問を行っている ・そのように思います。 ・かけはしシートを元に、引継ぎを行っているが、小学校内で引継がれておらず、かけはしシートが無意味なものになってしまうことが毎年ある ・かけはしシートの作成や、各学校への引継ぎを丁寧に行っているを思います	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	25	0	・保育所等訪問を行っている ・そのように思います ・ルピロの研修に参加し、様々な事例から学びを得られています	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	25	0	・定期的に研修がある ・三方原幼稚園の交流 ・三方原交流 ・三方原幼稚園来園交流 ・地域の幼稚園との交流が、月1～4回ある ・三方原幼稚園との親子交流、来園交流を通じて接する機会を得られている ・地域の幼稚園との交流会を定期的に行っている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	17	7	・そのように思います。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	25	0	・おたより帳、電話、面談等で共有している ・そのように思います。 ・バスでの送迎の為、直接話す機会が少ないが、スキップや電話等でのコミュニケーションを丁寧に行っている ・おひさま(面談)はもちろん、送迎時やおたより帳等を活用して保護者とやりとりをしている ・保護者の様子をみて面談を実施したり、毎日の生活記録で悩み等があれば電話で話をしたりと、子どもの状況を伝え会えるようにしている ・送迎時に家庭、学園での様子を共有し、変化がある際は、電話にて様子を伝えたり、聞き取りを行っている。支援の共有ができるよう伝える ・生活記録表でのやりとりや、面談が共通理解の良い機会となっています	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	24	1	・母親教室、ペアトレ等、行っている ・そのように思います。 ・親御さんの困り感も聞けている。また、ペアプロがあることで、親御さん同士の仲を深まっている	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	24	1	・欠席加算等、その都度伝えている ・規定や請求について、職員も知らないことが多い ・そのように思います。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	24	1	・支援計画については、保護者と確認しながら作成し、同意を得ている ・そのように思います。	

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	25	0	・定期的なもの以外にも必要性があると判断した際に、相談を受ける場を開いている ・おたより帳に困り感が感じられる記載があれば、電話で確認している ・そのように思います。 ・都度、面談を行っている ・気になる保護者とは面談を実施する ・面談を実施したり、電話をしたり ・コロナウイルス感染対策をしながら、保護者が交流する機会を再開した ・面談でまとまった時間を取り、保護者の相談にできる限り応じられるように心掛けています ・面談の機会+α、生活記録にて届いた親御さんの思い等を電話や直接話す機会を設けている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	24	1	・コロナということもあり、今年から少しずつ開いていけているお話をしている ・そのように思います。 ・父親、母親参観会や母親教室では、保護者同士の交流が図れるようお話を開いている ・コロナ禍となり、なかなか機会は減っているが、持てるよう機会の創作に努めている ・コロナ状況による。もう少し開催できると良い	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	24	1	・対応していると思う ・そのように思います。 ・小さな事もすぐに親御さんに連絡を入れるようにしている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	25	1	・学園だより、グループだより、必要に応じてメールで発信している ・園内便りの発行 ・学園だより ・所属しているらいおんGは、会報や行事予定などの発信が少ないかもしれません	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	26	1	・注意している ・注意はしているが、意識の違いが職員間であると思う ・今、かなり神経を使っている ・文書等による情報が漏洩しないように、書類関係はシュレッダーにて処理している ・個人情報とはどんなものか考えなおし、取り扱いにあたって、意識するようになっている。入れ間違いがないようダブルチェック ・注意していますが、取り扱い上のミスをしてしまうことがありました ・少しでも名前がのっているものは、大事に扱うようになっている	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	25	0	・情報が伝わりにくい場合は、配慮して連絡している ・そのように思います。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	20	4	・コロナ禍のため、難しい ・コロナ禍ではできていないが、それ以前はできていた ・みかん狩り ・園開放、プール開放 ・一日園長(12/1行事) ・コロナの事もあり、難しさがあるがwithコロナとして、少しずつできたと思う ・コロナの為、できていない部分もある ・機会は減っているが、根洗地区の方との交流機会を作って頂いている	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	26	0	・実施している ・不十分な所もあるかなと感じる ・している ・組織図を作成し、連絡網にて、各責任者より職員への連絡を徹底している ・マニュアルがあり、確認できている	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	25	1	・定期的実施している ・実施している ・定期的な訓練を実施して各職員の役割分担をしている ・訓練は行っているが、火災の時には窓を閉める。実際には地震が起きた時に避難が難しいところが経路になっていると思う ・月に1回、定期的に訓練(火事、地震、不審者等)を行っている。総合防災訓練時に、療育外の職員も意識して参加できると良いと思う ・毎月行っている ・毎月色々な場面想定した訓練をしている ・毎月1回行っている。振り返りをもとに次月工夫している	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	24	0	・研修で確認している ・している ・健康カードに記載している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	25	0	・毎月、保護者にメニューチェックしていただき、食器を別のものとする ・職員が個別に受け取りチェックするなど対応している ・対応している ・している ・個別に給食 ・毎朝、アレルギー児の確認をしている	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	17	6	・終礼に報告し合っている ・ヒヤリハットは終礼で周知している ・共有はできていない ・多分あると思いますが、見たはありません ・ヒヤリハットの共有はしていますが、事例集を作成しているかどうかは？？です ・その日の終礼で周知できている ・日々、事故ケガ、ヒヤリハット等共有している ・報告は行っているが、事例集にはなっていないのでは	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	24	0	・研修を行っている ・している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	20	4	・身体拘束について、組織的に決定されているのか分からない ・了解は得ているが、計画に記載されていない ・そのように思います ・身体拘束は、行っていない ・今のところ見た事はない ・重度の知的障害の子が、バス内でシートベルトを外してしまう場合に、保護者の了解を得た上で補助のタオルやベルトを使用している	

*はい、いいえ欄が未記入、または不明や△等の記載のあった回答はカウントしていません。